

環境貢献、地域貢献

カーボン・ オフセット でつながる 企業と森

鳥取県は森林J-クレジットを活用した
カーボン・オフセットをお手伝いします

鳥取県

(平成30年7月)

森林Jークレジットを活用した 森林整備の推進

鳥取県は県有財産の造成を図るとともに、森林の有する多面的機能を高度に発揮させるため、県有林において間伐を実施しています。

この間伐を実施した森林について、モデル的に森林Jークレジットの認証を取得しています。

鳥取県は県内事業体に、そのノウハウを提供するとともに、森林Jークレジットの認証を支援しており、県内全域で森林Jークレジットの取得が進んでいます。

また、県有林Jークレジット※を販売し、得られた収入を活用して森林整備を促進しています。

企業の皆様に森林Jークレジットを御購入いただくことで、持続可能な森林管理と地球温暖化防止への貢献を目指します。

※県有林Jークレジットとは、森林Jークレジットのうち、鳥取県が取得したものを指します。

手入れがされていない森林は光が入らず、下草も生えません。

表土の露出、生物多様性の低下、自然災害の要因となります。



間伐の実施

間伐により林内に光が入り、森林が成長するとともに、林内の動植物も増加します。災害に強い、健全な森林となり、より多くの二酸化炭素を吸収・固定します。



カーボン・オフセットとは？

日常生活や経済活動で自らが排出する温室効果ガスのうち、どうしても削減できない排出量の全部または一部を他の場所での排出削減・吸収量で埋め合わせ(オフセット)することをいいます。



出典画像：カーボン・オフセットフォーラムHPより

森林Jークレジット とは？

環境省、経済産業省、農林水産省のJークレジット制度に基づいて、国内における森林経営や植林活動の取組(プロジェクト)から生じたCO₂の吸収量です。信頼性の高いクレジットとしてカーボン・オフセット等に用いられています。

※本紙では、Jークレジットの前身として平成25年度まで認証されていた環境省のJ-VERについてもJークレジットと同様に取扱います。



活用事例

■ 商品、サービスのイメージアップ

CO₂削減や森林保全に貢献する商品として販売を促進することができます。

エコ商品、エコキャンペーンなどのほか、地球に優しい商品としてブランド化することができます。

【事例】北陽冷蔵株式会社 自社商品の製造過程に係る取組



冷凍グラタンコロッケ

■ CSR活動としての取組

エコドライブ、節電運動と組み合わせて省エネ活動を効果的にしたり、CSRとして地球温暖化防止や地域への貢献活動に取り組むことができます。

【事例】株式会社武晃建設 自社機械の稼動に係る取組



建設機械

■ 環境に配慮したイベント開催

イベント、シンポジウム、会議、祭などの電気使用や関係者の移動で発生するCO₂を相殺し、環境に配慮した取組にすることができます。

ゴミゼロ、公共交通機関利用などの呼びかけと組み合わせて取り組むと効果的です。

【事例】株式会社鳥取銀行 自社主催イベントの開催に係る取組



キッズサッカーイベント



とっどりの森を守る優良企業等認定制度

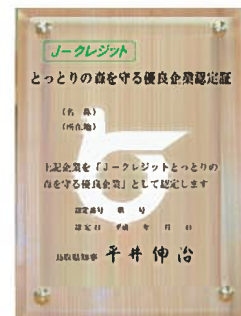
鳥取県内の事業者が取得した森林J-クレジットを購入し、森林保全に貢献する企業、団体を認定する制度です。

◎認定要件：鳥取県内の森林J-クレジットを購入し、カーボン・オフセットを実施する企業、団体

◎認定証を授与します。

◎取組に関係する商品、広報物などに「エコトリピー」を使うことができます。

◎鳥取県は、認定者をホームページ等でPRします。



認定証



鳥取県環境政策キャラクター
「エコトリピー」

メリット

森林J-クレジットを購入することで、手軽に森林保全、地球温暖化防止に貢献することができます。

消費者や社員など多くの方に、「森林を守っている」、「地球温暖化防止に貢献している」というわかりやすいメッセージを伝えることができます。

- 企業、商品、サービスのイメージアップ
- 取組を通じて環境貢献など社員の意識が高まる機会を創出
- クレジットの売買を通して森林整備を支援
- 国等への寄附行為として損金算入可能
- 温対法※1及び県条例※2の温室効果ガス排出量報告等に活用可能

※1 地球温暖化対策の推進に関する法律
同法に基づく調整後排出量報告に活用可能。

※2 鳥取県地球温暖化対策条例
同条例に基づく排出抑制等のための取組計画及び実績報告の「寄与的取組」として活用可能。

- 取組に関係する商品、広報物などに鳥取県環境政策キャラクター「エコトリピー」が使用可能



商品への使用例
赤松産業株式会社 消臭スプレー



商品ラベルのイメージ

鳥取県のサポート

皆さまのニーズに合った取組を御提案させていただきます。
あらゆる機会を取組をPRさせていただきます。



森林J-クレジットの購入をPR
(やまこう建設株式会社とのパートナー協定調印・
株式会社白兎設計事務所の優良企業認定)



イベント等でカーボン・オフセットの取組をPR
(エコプロダクツ 東京ビッグサイト)

県有林森林吸収プロジェクトの概要

プロジェクト名 鳥取県県有林J-クレジットプロジェクト
プロジェクト対象 板井原(いたいばら)県有林(日野郡日野町地内)
 平成19~24年度における間伐実施地約77ha
既認証量 3,207t(販売可能量:1,655t)

間伐年度(平成)	19	20	21	22	23	24	計
間伐面積(ha)	7.5	27.1	22.7	9.8	5.7	4.1	76.9

プロジェクト実施地の背景

大正時代まで「たたら製鉄」が盛んな日本有数の鉄の産地で、森林は木炭供給源として使用されてきました。

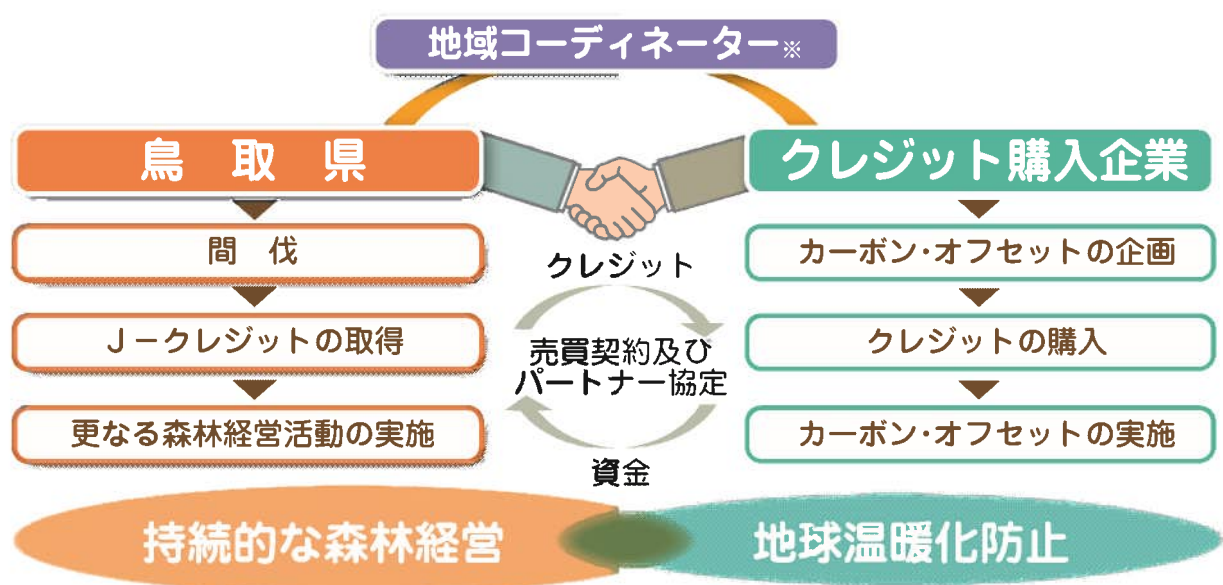
鳥取県は、明治時代から土地所有者と分収契約を結び、森林整備に取り組んでおり、植林後も、保育・間伐などの管理を継続し、森林認証SGECを取得するなど、持続可能な森林づくりを進めています。



※J-VER制度(環境省)に基づく鳥取県県有林J-VERプロジェクト登録後、J-VER制度と国内クレジット制度(経済産業省)が統合し、新たに創設されたJ-クレジット制度に移行。

実施の流れ

県と企業は、県有林J-クレジット売買契約およびカーボン・オフセットパートナー協定を締結し、森林整備の促進と地球温暖化の防止について協働してカーボン・オフセットに取り組めます。



※鳥取県森林J-クレジット地域コーディネーター
 県有林J-クレジットを活用したカーボン・オフセットの企画および取得に係る手続きなどをサポートして下さる事業者等を認定しており、現在、株式会社山陰合同銀行、株式会社鳥取銀行が活動しています。
 また、株式会社山陰合同銀行は日南町及び兵庫県養父市と、株式会社鳥取銀行は日南町と、それぞれ地域コーディネーター契約を締結しています。

森林Jークレジットを活用した カーボン・オフセットの取組が 森林と地域と環境へ貢献

森林Jークレジットの
売上を
活用した森林整備

森林

企業

森林Jークレジット
の購入

地域

森林整備に伴う
雇用の創出

環境

地球温暖化
防止

◇森林Jークレジットについての問合せ先◇

鳥取県 農林水産部 森林・林業振興局 森林づくり推進課

〒680-8570 鳥取県鳥取市東町一丁目220

TEL 0857-26-7335 / FAX 0857-26-8192

E-mail: moridukuri@pref.tottori.lg.jp

地域コーディネーター

株式会社山陰合同銀行 地域振興部

〒690-0062 島根県松江市魚町10

TEL 0852-55-1821 / FAX 0852-28-0495

株式会社鳥取銀行 ふるさと振興部

〒680-8686 鳥取県鳥取市永楽温泉町171番地

TEL 0857-37-0220 / FAX 0857-37-0222



鳥取県環境政策キャラクター
「エコトリピー」